

第 8 2 回 川口市自立支援協議会 議事要旨

日 時：令和 8 年 7 月 2 4 日（金） 1 0：0 0～1 2：0 0
会 場：川口市役所第二本庁舎 2 6 0 1 A 会議室

1. 開 会

【福祉部次長兼障害福祉課長より挨拶】

本日、川口市自立支援協議会にご出席いただいたことに感謝を申し上げますとともに、日頃の本市障害福祉行政および地域支援への理解と協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

本日は「川口市障害者福祉計画」の進捗評価のほか、次期「障害者自立支援福祉計画」および「障害児福祉計画」の策定に向けた重要な審議を予定している。

障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域共生社会の実現には、福祉・医療・教育・就労等、多分野の関係機関の緊密な連携が不可欠である。現場で培われた経験や専門的視点からの活発な意見や提言を期待し、委員各位の健勝と活躍を祈念して挨拶とする。

2. 議 題

（1） 行政報告

【障害福祉課支援係主査より報告】

【令和 7 年度障害者相談支援センター実績報告】

- 相談実人数は 2,451 名（前年比 256 名減）と減少した一方、延べ支援件数は 27,878 件（前年比 434 件増）へ増加した。
- 窓口対応から訪問・同行等のアウトリーチや「保育・教育」に関する調整支援への比重が高まっている。

【令和 7 年度障害者相談支援センター新規相談者状況報告】

- 年間の新規相談者数は 953 名であった。
- 世帯の複合課題を抱えることが多い 30～50 代が約 4 割を占める。
- 16～18 歳での相談が急増しており、教育から福祉への移行期の連携が必要である。
- 精神障害者や手帳未取得者からの相談も多く、初期段階からの丁寧なニーズ整理と関係機関の連携が求められる。

(2) 川口市障害者就労支援センターからの報告

- 直接の求人斡旋を行うハローワークとの役割の違いや、就労支援の範囲を超えた相談への対応など、センターの機能や役割に関する周知・理解促進が課題として示された。
- 企業同行などの支援を実施しつつ、関係機関との連携や役割分担の正しい周知を図る方針が示された。

(Q) どのような機関やルート（本人・家族から直接か、相談支援事業所等からの紹介かなど）から相談が入っているのか、相談経路の内訳について伺いたい。

(A) ご本人やご家族からの直接相談が最も大きな割合を占めている。その他にも、各事業所から「就職を希望している方がいる」といった問い合わせや相談が入るなど、特定の機関に限らず幅広いルートから相談を受け付けている。

(3) 相談体制整備の活動報告

【人材育成】

- 市内の相談支援専門員の資質向上を図るため、主任相談支援専門員と連携した研修や計画相談に関する情報交換会を企画・実施している。

【権利擁護】

- 当事者の意思や権利を尊重した支援（意思決定支援）を推進するため、支援者を対象とした研修を継続して開催している。

【高次脳機能障害】

- 当事者や家族が悩みや情報を共有できる集いや情報交換会を開催するとともに、埼玉県の詳細センターや地域の医療機関との連携ネットワークを強化している。

【精神保健医療福祉ネットワーク】

- 医療・保健・福祉の関係機関が顔の見える関係を構築し、市内の精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議や情報交換を行っている。

(4) 各部会の活動報告

【くらし部会】

- 毎月地域支援拠点等ネットワーク会議を開催して事例を通じた支援方法や事業者連携を検討している。
- グループホームの支援の質向上と人材育成に向け、「暮らしの場連絡会」の運営を行っている。
- 日中サービス支援型グループホームへの訪問による実態把握・評価の取り組みを開始している。

(Q) 県内の統計を見るとグループホームでの虐待事例が多い実態がある。研修を企画しても現場の「世話人」を出せず、管理者層しか参加できない構造的課題があるが、どう考えるか？

(A) 評価や訪問を通じたやり取りの中で、現場職員・世話人も研修や集まりに参加・協力してもらえよう働きかけていきたい。

【日中活動部会】

- 医療的ケアが必要な方の受け入れに向け、福祉・医療の専門職による意見交換会を開催し、看護師と介護職の役割分担や緊急時対応等を検討した。
- 障害者雇用の理解促進に向けたシンポジウムの企画を進めるほか、新たに導入された「就労選択支援」制度の円滑な運用に向け関係機関での協議を行っている。

【むすぶ部会】

- 小学校等での「あいサポートキッズ」講座を実施している。
- あいサポート研修・あいサポートメッセンジャー養成、障害者差別解消法（合理的配慮の義務化）に関する研修を推進している

[委員補足]

- 「あいサポートキッズ」は小学生が車椅子や白杖の体験に真剣に向き合っており非常に良い取り組みであった。
- 一方で、民生委員の全体部会で「あいサポート運動」について周知した際、認知度がまだ低かった。「あいサポートマークがなくても当事者を助けられる」という声もあったが、あいサポートマークがあることで当事者が声を掛けやすくなり支援者も助けやすくなる利点があるため、市内で一層周知を進めてほしい。

【こども部会】

- 障害児のいる家庭を対象にアンケートを実施し、同じ悩みを持つ家族同士の繋がりや情報共有の場が必要とされていることを確認した。
- 障害児通所支援事業所等を対象に、適切な支援姿勢や権利擁護に関する研修・グループワークを開催した。

(Q) 課題に挙げられている「エンパワメント」とは具体的にどのようなイメージか？

(A) 悩みを抱える家族同士が繋がり、体験談の共有や助け合いができる場（ペアレントメンター等）を作り、当事者家族自身が持つ力を引き出していく取り組みを想定している。

(5) 各協議会の活動報告

【川口市医療的ケア児連絡協議会】

- 医療的ケア児者およびその家族が地域で安心して生活できるよう情報共有と課題検討を行っている。
- 医療的ケア児コーディネーター連絡会では、小児期から成人期への診療科移行の課題や家族の社会参加について協議したほか、防災ガイド等の周知に取り組んだ。

(Q) 重症心身障害者ではないが医療的ケアが必要な方の実態とは？

(A) 寝たきりや知的障害はないが、インスリンポンプ使用や定期的な経管栄養注入等が必要で動ける方のケース。受入先が非常に少なく、強度行動障害等を併せ持つ場合はパニック等で家族が疲弊し受入先がないため、支援体制の準備が必要である。

【川口市における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のための協議の場】

- 集合住宅管理人を対象に、入居者のメンタルヘルスに関する講座を実施した。
- 今後はグループホーム職員向けに精神科医療との連携をテーマとした研修を企画している。

(6) 川口市障害者福祉計画の評価について

【障害福祉課課長補佐兼庶務係長より報告】

【評価の概要】

- 令和 6 年度から令和 11 年度を計画期間とする「川口市障害者福祉計画」について、令和 7 年度の実績に基づく進捗状況の点検・評価結果が報告された。
- 全体施策の約 8 割において順調な推進(評価 A または B)が確認された。

(Q)地域福祉や孤独・孤立対策に関するアンケート調査の結果と、川口市における課題は何か？

(A) 市の基礎調査において、全国平均と比較して孤立感がやや高い傾向がみられた。また、家庭内で就労・通学をしておらず家族以外との交流がほとんどない層が 5.6%存在するなど、社会参加や繋がり作りの課題が浮き彫りとなった。これを受け、令和 8 年 10 月より市内 10 箇所で地域課題の共有や市民対話を行う座談会を開催し、繋がりを深める地域づくりを進める方針が示された。

(7) 第 8 期川口市障害者自立支援福祉計画・第 4 期川口市障害児福祉計画について

【計画策定の概要】

- 現行計画（令和 6 年度～令和 8 年度）が最終年度を迎えるにあたり、国や県の指針を踏まえて令和 9 年度からの 3 年間を期間とする「第 8 期川口市障害者自立支援福祉計画」および「第 4 期川口市障害児福祉計画」を策定する。
- 当事者や事業所等の意見・課題を把握するため、アンケート調査や当事者団体との意見交換会、パブリックコメント等を通じて計画案を作成していく方針である。

【アンケート調査の実施内容と追加項目】

[対象]

障害者本人・障害児保護者、施設入所者・グループホーム入居者、一般市民、障害者団体、障害福祉サービス事業者

[主な追加・変更項目]

新制度である「就労選択支援」の利用意向、サービス利用計画（セルフプラン解消）、意思決定支援、事業者における合理的配慮の提供状況、精神障害者の地域移行、個別避難計画の作成状況など。

- (Q) 入所施設・グループホーム利用者向けアンケート等に、「障害区分（程度区分）」との表記があるが、何故か。
- (A) 一目で意図が理解できるよう、不要な括弧書きや専門用語の表現を精査し、より分かりやすい表記に修正する。アンケート中の文言等は、これから精査し、修正する。
- (Q) 住まいやグループホーム・施設に関する質問（問 24 等）について、「住み慣れた地域での暮らしの連続性」という視点を入れたり、「選ばない理由」を聞いたりすべきではないか。
- (A) 問 24 については、現状に合っていないため、自由記載にする等検討している。
- (Q) 事業所向けアンケートにある「強度行動障害」や「重症心身障害」の受入状況について、事業所が迷わず回答できるよう、手帳の級や判定基準（大島分類等）に関する簡易な説明を補足するなどの工夫ができるか。また、障害の程度にかかわらず、行動面等の理由で受け入れ先が見つかりにくい「支援困難層」の実態も把握できるか。
- (A) 設問に反映できるか、ご意見を参考に検討する。
- (Q) 回収率向上のため設問数の精査が必要だが、今回のアンケートで新たに追加・修正された主な項目は何か。
- (A) 社会情勢や制度改正を踏まえ、主に以下の項目を新たに追加・修正している。
- 新制度である「就労選択支援」の利用意向
 - サービス等利用計画の作成（セルフプラン解消に向けた設問）
 - 意思決定支援に関する設問
 - 改正障害者差別解消法に伴う「合理的配慮」の提供状況
 - 精神障害者の地域移行・地域定着
 - 災害時に備えた「個別避難計画」の作成状況
- (Q) 障害福祉サービス等を利用開始後、短期間で利用終了や離職となってしまう実態について、アンケートで把握することはできるか。
- (A) 設問に反映できるか、ご意見を参考に検討する。

3. その他

【川口市障害者週間記念事業ハートフェスタの開催】

[開催予定日時] 令和8年10月24日(土)

[場所] 川口駅前(キューポ・ラ広場等)

[内容] 障害者理解の促進および地域交流を目的とした障害者週間記念事業について、昨年度と同様に「社会福祉大会」と同日開催する旨が案内された。多くの市民の来場を呼びかけている。

4. 事務連絡

【川口市自立支援協議会 令和8年度の日程について】

- 第83回 令和8年11月20日(金) 10:00～第二本庁舎 2601A 会議室
- 第84回 令和9年3月25日(木) 10:00～第二本庁舎 2601A 会議室

5. 閉 会